

あたらしい絵本 No. 448 2023. 7. 17



『おだんごちょうだい』 せな けいこ

・服と同じ色のぼうしをかぶった、あかちゃん、あおちゃん、きいろちゃんが
お出かけです。みんなで、いち、に、さん。ぼうしも、ぶらんこも、いち、
に、さん。でも、いぬちゃんが来たら…？ 色や数に親しめる絵本。
(幼0～2歳)



『おふろおじゃまします』 たしろ ちさと

・おふろが大好きなたろちゃんとかばちゃん。「おふろおじゃまします」と、
おふろめぐりに出かけます。うさぎちゃん、ぶたちゃん、わにさん、みんなそ
れぞれ色々なおふろに入っていて…。おふろがもっと好きになる絵本。
(幼0～5歳)



『ぼくのサビンカ』 出久根 育／絵・訳

・ぼくの腕の中でごろごろいうとき、サビンカはごきげんなんだ。サビンカ
は、だっこが好き。ぼくたちは、一緒にいるのが大好き。チェコで生まれ
た、少年とねこのいとおしい時間を描いた絵本。(幼0～5歳)



『ねこねむる』 楓 真知子

・「おおかみ おきる」「うま うたう」「たぬき たすける」…。生きものの名
前で韻を踏んだシンプルで文章と、ダイナミックなタッチで描かれた色鮮やか
な絵。生きものたちそれぞれのシチュエーションを想像して楽しめる絵本。
(幼0～5歳)



『のせてくださいな』 みやけ ゆま

・「のりものにのってみたい」という、どうにも変わったクロヒョウが、のり
ものをまっています。「のせてくださいな」といって、バスやタクシー、バイ
クと、いろいろなのりものにのせてもらいますが…。(幼0～5歳)



『パンダフルがくえん』 きのした みわ

・変装してパンダの学校に入ったしろくまポー。しかし、ポーはまわりのみん
なのように過ごせず、「ぼく、みんなとちがうみたい…」と落ち込みます。次
の日、ルーと一緒に木登りをしようと誘ってくれますが…。(幼0～5歳)



『おばけのやだもん だいすき！ソフトクリーム』

ひらの ゆきこ

・やだやだおばけのやだもんは、だだっこのかずくんを仲間にして、ソフトク
リーム屋さんにやってきた。でもソフトクリーム屋さんは五つ子のお世話で忙
しくて…。見返しに探し絵&カヴァーそでに答えあり。(幼0～5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと
本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、
お問い合わせください。



『おおきなおさら』 絵／イシヤマ アズサ

・クマのルウさんの宝物は、だんなさんのムーさんからもらった大きなお皿。ルウさんは家族のためにお皿いっぱいのごちそうを作り、たくさんの幸せな時間を過ごしました。ところがある日、ムーさんが病に倒れてしまい…。(幼0～5歳)



『まほうのオッジィ』 絵／高畠 那生

・ある日、神さまから魔法の力をもらった、チーターのオッジィ。旅のとちゅうで出会ったハリネズミのオットちゃんと、みんなの夢を次々と叶えていき…。シャンプー「oggi otto」イメージキャラクターの絵本。(幼3～5歳)



『ぼくはびっくりマーク』 絵／トム・リヒテンヘルド

・ぼくって、みんなとちょっと違う。みんなと同じになろうとしても同じになれない、びっくりマークくん。悩んで苦しんだびっくりマークくんは、ある日、逃げだすことに決めた。すると、そこには新しい出会いがあつて…。(幼3～5歳)



『からだたんけんれっしゃ』 絵／大橋 慶子

・食べたものがどこに行くのか知りたくなった男の子。小さくなった男の子は、おもちゃの列車に乗ってからだの中へ…。口に入れた食べものが最終的に便となって排泄されるまでの過程を楽しく学べる絵本。(幼3～5歳)



『ふたごのたまごとうさぎたち』 絵／福井 さとこ

・こうさぎのミミとルルがたまごに顔を描いたら、あらふしぎ。歌にあわせて、たのしくおどりはじめ…。あかるい春のおとすれを祝うキリスト教のお祭り「イースター」を描いた、美しくてゆかいな絵本。(幼3～5歳)



『クールなマメ イケてるトリオとイケないボク』
ピート・オズワルド／絵

・同じさやのマメだったトリオはクールで人気者。フツのマメのボクには、近寄れない。だけどある日、トリオのひとりがボクを助けてくれて…。「本当にかっこいいのは人を思いやり、勇気を出して行動すること」だと伝える絵本。(幼3～5歳)



『ほのかちゃんえき』 岡田 よしたか／絵

・道ばたでほのかちゃんの手袋を拾った、げんくん。ほのかちゃんのあとを追いかけて、公園までやってきたげんくんは、いつものくせでつい鉄棒で得意の逆上がり。すると、おばけの電車がやってきて…!?(幼0～5歳、小初)



『ナンティー・ソロ 子どもたちを鳥にかえたひと』
絵／ローラ・カーリン

・ある日、町にあらわれたナンティー・ソロ。子どもたちを鳥にかえられると彼女が言うと、驚いた大人たちは、子どもたちをナンティーに近づけまいと大騒ぎ。ところが…。自由に飛び立ちなさいと背中を押してくれるお話。(幼3～5歳、小初)